

「がんリハビリテーション」特別講演会 現場からの熱い声

日時 : 平成30年1月27日(土)
15:30~20:00(受付15:00~)

場所 : 京都大学医学研究科人間健康科学系専攻
杉浦ホール(杉浦地域医療センター2F)

対象 : 医師、看護師、理学療法士、作業療法士、臨床検査技師、放射線技師
薬剤師、臨床心理士、言語聴覚士、SWなど

参加費 : 無料

第一部 一般演題(15:30~)

「興味関心の程度における作業活動の影響性の検討」	西田 百合香
「治療中のがん患者の作業療法に関するニーズ調査」	馬場 千夏
「寛解導入療法期急性白血病患者の身体活動量の実態について」	地家 淳史
「小児脳腫瘍患児の認知機能、生活の質および適応行動に関する調査研究」	田畑 阿美
「がん化学療法中のNon-pharmacological Supportive care : 副作用予防としてのリハビリテーションの可能性」	華井 明子

第二部 現場からの声 part 1(17:00~)

朴 文華 先生

(国立がん研究センター中央病院 骨軟部腫瘍・リハビリテーション科)

「希少がん患者に対するリハビリテーション」

沖田 祐介 先生

(国立障害者リハビリテーションセンター 研究所 義肢装具技術研究部)

「下肢骨・軟部悪性腫瘍治療後の機能成績評価」

第三部 現場からの声 part 2 (18:30~)

小石原 優 先生

(国立がん研究センター東病院 骨軟部腫瘍・リハビリテーション科)

「がんリハビリテーションの臨床と研究 一周術期における取り組み」

立松 典篤 先生

(国立がん研究センター東病院 骨軟部腫瘍・リハビリテーション科)

「がんリハビリテーションの臨床と研究 一進行がんに対する取り組み」



共催：京都大学医学研究科・医学部

多様な新ニーズに対応する

『がん専門医療人材（がんプロフェSSIONナル）』養成プラン